

2017 年度圧力真空クラブ研究会開催のご案内

圧力真空クラブ長 新井健太

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。会員の皆様には、日頃より NMIJ 計測クラブの一つである圧力真空クラブの諸活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

圧力真空クラブでは、圧力と真空の計量・計測技術の、そのときどきの最新の話題について、最前線で活躍されている方々を講師としてお招きし、会員と NMIJ との技術交流を目的とした研究会を開催しております。今回は、身近な気象観測における圧力測定について、及び昇温脱離ガス分析技術に関する最新の研究活動について、講師の方々をお招きし、ご講演いただく機会を設けました。併せて、圧力真空標準研究グループの最近の研究活動を、今年はポスター発表でご報告いたします。

多数のご参加をお待ちしております。

日時： 2018 年 3 月 2 日(金) 15:00～18:30(受付 14:30～)

会場： 機械振興会館 地下 3 階 研修-2 (東京都港区芝公園3丁目5-8)

参加費： 第一部のみは無料

第二部(懇親会を兼ねます:懇親会費 3000 円(当日研究会受付でお支払いください))

講演プログラム <質疑応答込>

第一部

はじめに (産総研 工学計測標準研究部門 副研究部門長) 小島 時彦 15:00～15:10

気象庁における気圧観測の概要と世界気象機関(WMO)地区測器センターとしての国際協力活動について
(気象庁) 中島 浩一 15:10～15:45

ダイナミック昇温脱離ガス分析技術～山口大学ナノテクノロジープラットフォームのガス分析技術～
(山口大学) 栗巢 普揮 15:45～16:20

<休憩>

光学的手法を用いた圧力計測に関する調査研究 (産総研) 武井 良憲 16:30～16:50

第一部のおわりに 新井 健太 16:50

第二部

圧力真空標準研究グループ員の最新の研究成果のポスター発表 17:00～18:30

新井健太 EN14624 に基づくリークディテクタの評価

杉沼茂実 三極管型電離真空計の比感度係数と空間電荷の関係

小島桃子 1Pa-10kPa の圧力の国際同等性確認

吉田 肇 高真空・超高真空における様々な気体の定量測定のための研究

梶川宏明 液柱による圧力差を利用した高圧での圧力媒体の密度測定

飯泉英昭 圧力媒体による圧力センサの校正値への影響とその低減方法

武井良憲 光学的手法を用いた圧力計測に関する調査研究

参加申し込み方法

お名前、ご所属、連絡先メールアドレス、講演会・懇親会の参加の有無について、下記の問い合わせ先までメールで2018年2月19日(月)までにお申し込み下さい。会場大ききの都合により、1社あたりの人数を制限させていただく場合や、お受けできない場合もございます。予めご了承下さい。

問合せ先

産業技術総合研究所 計量標準総合センター 工学計測標準研究部門 圧力真空標準研究グループ

担当:新井、小島 e-mail: pres-vac_club_sec-ml@aist.go.jp